

ひがしゆり

HIGASHIYURI

東由利町

2004

2

NO.587

おばあちゃんといっしょ

～大平スキー場～



町イメージ
キャラクター
「モウ太くん」

新市の名前は

「由利本荘市」

第十三回本荘由利一市七町合併協議会が一月二十二日、本荘市の「本荘由利広域交流センター」で開催され、第三回協議会からの継続協議となっていた新市の名称について

「由利本荘市」とすることで確認されました。

新市の名称については、一月八日に同センターで開催された第十二回合併協議会において、委員四十人（一人欠席

による無記名投票（一人三票まで）が行われ、五候補の中から「由利本荘市」「本荘市」「鳥海山市」の上位三候補を選考。新市の名称決定までの選考方法については、「委員

四十一人で協議を尽くすべき」「分科会に分かれて話し合いを進めるのが良い」などの意見が出されていました。

第十三回協議会では、最初に「由利本荘市」「本荘市」「鳥海山市」の三候補について、各市町の委員が選考方法も含めて意見交換。その結果投票を行わず話し合いで決め

ることを確認し、また、委員の意見を集約したところ、「合併する地域が一体であるという考えを名称に反映させるべき」「前協議会の投票で由利本荘市に八割の票が集まったことを重く受け止めるべき」などの意見が多数を占め、「由利本荘市」とすることで全会一致を見ました。

議員の定数・任期

小委員会設置し協議

同じく継続協議となっていた議員定数及び任期の取扱いについては、在任特例を使う原案のほか、定数を四十人程度として定数特例を使う案、地方自治法の原則に従い定数

を三十人として設置選挙を行う案などが出され意見の一致を見るにいたらず、最終的には、各市町の委員が議会代表と一般代表の二つに分かれて小委員会を立ち上げ、この間



▲新市の名称が確認された第13回協議会



▲第13回協議会で意見を述べる遠藤忠平議長

町長日記

昨年は天候不順で心配をしましたが、正月もその続きかと思いましたが、三が日は積雪ゼロでした。ボツメキに新年の水汲みに行けたのはあまり記憶にないで地元の人たちも言っていたので、かなり久しぶりの異常気象でした。

八塩山に元日登頂をした人も多かったと聞きました。小松久男助役もその一人です。私は三十九度弱の高熱と喉の痛みにダウンし、残念ながら寝正月でした。風邪をひいたことがないとい

我慢していましたが、体温計を見ながらこれからは言わないようにしようと思ったことでした。もつとも一日半寝たら平熱に戻りましたが、しかし元旦の八塩登山は心残りでした。

四日は消防出初式でした。昨年は、人家火災や無謀運転による死亡事故など痛ましい事件があり、改めて今年こそはと無事故・無火災を祈願しました。また、正月休みにもかかわらずお出でいただいた由利地域振興局の石山修局長はじめご来賓の皆様にも激励のお言葉を頂いたことです。ありがとうございます。

五日からは、恒例の六分館主催の新春町政座談会に出席し、合併の進行状況と、町が単独で予算を組める最後の年になることを申し上げました。どの会場でも新市の名前は心配されました。新市のシンボルになるものですから重い課題であることを実感しました。

引き続きの新年の懇親会には十分な時間をとれませんでした。また、さまざまな意見交換もしました。合併後は、こういう行政との情報交換をどう再構築していくのかも大きな課題であると改めて考えさせられたことでもあります。

題について協議することになりました。その後、小委員会の協議の結果を受けて幹事会で再検討し、修正案という形で次回協議会に提案されることになりました。

また、同じく継続協議となっていた社会教育事業の取扱いについては、成人式を新市において調整するという修正案を事務局が提出。協議は次回へ持ち越されました。

第十一回合併協議会では、成人式を新市において統一するという議案に対して、「成人式は各市町の同窓会のような雰囲気もあるので、現行のとおり各市町単位で実施するのが良い」などの意見が出されていきました。

第14回合併協は

2月26日

とき 2月26日(木)

午後1時30分

～4時30分

ところ 本荘市「本荘由利広域交流センター」

皆さんの傍聴をお待ちしています。

一連の座談会の後に、町議会OBの会や蔵壮寿会、老方老人クラブからもご案内があり、合併についての説明や意見交換をさせてもらいました。

二十二日は、いよいよ新市の名前を決める第十三回の合併協議会が開かれました。千八十七の公募名のうち、委員の投票により絞られた三つの中から一つを選ぶことです。「由利本荘市」が良いという本荘市の住民代表委員の発言がポイントになり、全員が賛成してそう確認されました。合併の一つの大きな山を越えたと思ったことでもあります。

また、同日の午前中に黄桜の里の株主総会が開かれました。営業成績には天気が大きく作用しますから、冷夏などの影響を心配しましたが、佐藤治支配人はじめ社員一同の頑張りでも今年も黒字決算を計上することができました。株主の皆さんからは合併後の第三セクターを心配いただきましたが、行政とのより良い関係を作っておくと申し上げました。

大寒に入り冬らしくなってきました。変なインフルエンザが東南アジアを中心にはやっています。寝正月を反省しながら、皆さんもお気をつけて。



住民の声を町政に

町公民館分館が主催する恒例の新春町政座談会が、一月五日から六会場で開催されました。座談会には町長と関係課長が出席し、町の将来や課題について活発な意見交換が行われました。その主な内容について紹介します。

住吉分館

役場職員を消防団員に

可能なことではあるが、役場職員は非常時にはそれぞれの役割分担で体制を整えているところであり、現状では難しい。

玉米・時雨山間の山道（作業道）の完成時期はいつか。また、急斜面箇所は新しい。

く山を削るのか、それとも現状をコンクリートにするのか。

全体で六千五百のうち、残り六百五十となっており、平成十六年度で完成。全線砂利道として計画している。

町民体育館トレーニング

ルームの器具は、二十年以上も前の器具で壊れている物も多く、他町並の整備を望む。物置状態にするのはおかしい。

壊れた物は修理して利用可能だが、利用者が少ない。指導者が必要とする器具もあり、利用を制限している。いろいろな情報を収集し、できる対応はしていきたい。

住吉から地下ノ沢の佐藤房蔵宅の中間に街路灯の整備を望む。

県からは、危険箇所でもなく対応は難しいとの回答。防犯灯であれば考えたい。

田代、黒瀬地区に移動通信鉄塔の早期設置を。

八塩いこいの森で国体のデモンストレーション競技が行われることも含めて、県に設置を要望している。いこいの森にはピンポイントのアンテナも検討している。

時雨山吉川宅から高戸屋方向の水路をU字溝に。

用排水路の整備とすれば町の補助制度もあり、組合で検討を。

湯出野遺跡の竪穴式住居は、都会からの見学者に好評だったが、改修で解体された。生の土器を見られるのも貴重だった。無くした理由は、

事実のままを残すべきとの専門家の指導で、お墓のみとした。また、遺跡周辺での問題行動や、施設の老朽化など

玉米分館

五海保・小松政義宅横カーブにある右折誘導標識について、点滅式矢印型等に替えてほしい。

看板の向きや通行止めバリケードを直した。その後の状況を見て対応したい。国道三九八号改良工事の見通しは。

峠付近の急カーブを待避所的に四個所改修している。本格改修は県予算の関連で順番待ち。

目タダレの水路調査はどの程度まで進んでいるか。

ども考慮し解体したものであることをご理解願いたい。土器の一部は有鄰館二階に展示している。

泡ノ淵集落からボツメキ林道十字路までの側溝整備を。

用水路は水利組合、道路側溝は町でやることになるが、もう少し時間が欲しい。県営圃場整備の柵溝改修により制度はないか。

昨年、用排水路調査を実施している。各水利組合と協議し、平成十七年度工事着手を目指している。

補助事業導入について県と協議中。水利組合と協議ができれば、五年くらいで完成できるようにしたい。関連して、新田水路の流雪溝対応、柵溝の改修を望む。

流雪溝としての対応は町として考えていない。柵溝の改修は、受益者負担を伴う用水路整備事業としては可能。道路側溝としてはできないと考える。



▲活発な意見交換が行われた新春町政座談会（写真は1月7日、克雪管理センターで）



法内分館

鞍骨線の除雪を。

作業量 危険度からして

無理と判断。

今の農政は認定農業者優先だが、その他の人への支援策は。

国は農業をやる人を育てようという考え。今後の課題である。

十二ノ前地区の里道整備

を。

懸案事項であり、どのように整備すればよいか検討中。意見をお寄せ願いたい。

下水道への接続はいつから可能か。

岩館の工事完成後の平成十七年四月から。

転作田に係る明暗渠整備の補助制度は今年度はないと言われたが、来年度にでもつくって欲しい。

現行に補助制度があるも

宿分館

国道一〇七号バイパス畑村・舟木間 歩道設置のフェンスが腐食して危険。早急な対策をお願いしたい。

現場を確認した。県に要望し早く整備してもらいたい。

のであり、来年度も引き続き予算確保したい。

若林から松ノ沢への林道整備は。

松ノ沢の草地地滑りの関連もあり検討中。合併後事業計画要望に入れてもいる。

上下水道の引き込みは指定業者でなければだめか。

町に届け出をし、許可を受けた業者でなければならぬ。

落合橋付近の素戔を。現場を見て県と協議する。

住宅需要に対応するため、アパート形式の住宅は考えていないか。

今のところは考えていない。

湯楽里の経営状況と合併後の方針は。

平成十五年単年度で百万円余の黒字。合併後も支援していく。

平成十六年度は無理。合併後の最優先事業として高速

情報通信網整備が計画されている。合併後五年以内には、

新市全域に整備できるよう検討中。パソコンにもテレビにも対応でき、災害情報等にも

対応できるので、ケーブルテレビの整備を考えている。

デジタル放送、共同アンテナへの対応は可能か。

デジタル放送への対応も考慮している。共同アンテナは無くなっていくと思う。

ケーブルテレビの経費はどれくらいか。

大内町では加入金として三万円とのことだが、合併後の対応は決まっていない。テレビ視聴料は、現状程度だと思

う。

根城坂を行き来する車は、スピードの出し過ぎや

無理な追い越しが多くて危険。追い越し禁止にできないか。

禁止はできないと思う。

スピード違反を取り締まるよう要請したい。危険だということ認識している。

町営住宅に入られない人もおり、空き家を調査して情報提供してもらえないか。

今年度町営住宅を四戸建

設し、空き家の調査も実施した。空き家は水回りに問題があり、利用できる家がほとんど無い。課題としては認識している。

合併後も婦人消防隊支援策は継続されるか。

まだすり合わせができていない。特殊事例でもあり合併時に即支援廃止とはいかないと考えられるが、将来的には整理されていくと思う。

銀河トンネル内で追い越す車がある。黄色線にできないか。

なぜ白線なのか確認し、分かりやすい表示になるよう要望したい。

町ゲートボール大会は、雨天中止。一週延期できないか。

日曜日ごとに行事が組まれており、対応に苦慮しているところであるが、予備日の設定、げんき館の夜間利用等々を検討したい。

畑村の旧国道除雪の際、国道との交差点付近の歩道に雪がたまり視界が悪い。ガードレールを外して川に排雪できないか。

現場を確認し、除雪している業者とも相談してみる。

歳分館

分館活動について、今後とも物心両面の支援を。

合併後も含め、支援していく考えには変わらない。他市町との整合性の関係から名称の変更があるかもしれないが、活動に支障の無いように対応したい。

島地内の防火水槽に吸水管の設置を。

表示板も含めて、平成十六年度予算で対応したい。

高瀬小から蔵新田方面への歩道設置の見通しは。

補助事業で対応できないか検討中。ポイントは、石田坂橋が二回目の拡幅なので、施工するとすれば架替になることと墓への対処。単独で事

業実施できるのは平成十六年度だけであり、それも含めて検討している。

消防施設等の用地を自治会で借りている。町で自治会負担軽減など対応できないか。

町内の消防施設は、すべて自治会等で対応しており、無償・有償はさまざま。町での対応は難しい。

昨年施工した下水道工事の舗装の傷みが激しい。早期に復旧できないか。

年度によって補助対象となる工種に違いがあり、そのような状態になった。平成十六年度予算で対応したい。

県道神岡南外東由利線蔵地内の下水道工事で各家々へ

の横断掘削が段差になっている。解消を。

岩館バイパス完成後、同地区は県道から町道へ移管される見込み。その際の条件として舗装復旧してもらうよう協議している。

大蔵館の内装改修を。

各会館の補修箇所を調査しており、施工箇所を検討中。

老方分館

市町村合併後、自治会交付金の減額や自治会組織の再編成（併合）を求められることはないか。

合併後、すぐに交付金等の減額はなく、ある程度の時期で統一になると思う。自治会の再編は考えていない。

緊要な部分が優先される。産直施設建設の考えがあるようだが、有機栽培と関連づけるなど買い手が付くような施設整備を望む。

山振事業で計画しており、関係団体と協議し、平成十八年度の完成を目指している。いろいろな意見をお聞かせ願いたい。

合併後、役場庁舎の二階部分に空きスペースができると見込まれる。他団体への貸与や地域住民の活用、また、駐車場をイベント広場などとして使用することは可能か。

それなりの利用は可能。合併前でも土・日等の職員がいる時間帯は駐車場も含めて利用可能。無料であるが、営業や飲食などは禁止であり、利用方法は限られる。

新町から老方館前を通り旧役場庁舎前を通る道路整備を願う。

平成十六年度に整備したい。

新町四号線（上野・消防署下間）の拡幅整備を。用地の同意が得られれば、

平成十六年度に整備したい。

新町から上野線に向かう十字路まで神社下の道路拡幅を。信号設置の考えはないか。

神社側の歩道を拡幅し、消防署側の歩道を無くして歩行者の安全を確保する方向。交差点部の見通し確保の点は県予算の絡みもあり時間がかる。

笹倉トンネル入り口の出水地にこみを置いて行く者がおり、町で環境美化の指導をしてほしい。

看板を設置し啓蒙していきたい。

四ツ眼交差点のローソンからJAまでの歩道設置を。

向かい側に歩道があり、優先順としては下げられているが、引き続き要望したい。

旧タカケン商店から老方館付近までの流雪溝整備を。

全体として水不足。課題としては認識している。

セッコ堤の上の曲り堤の浚渫を。

農業用施設であれば、水利組合負担も考慮して町に要望してほしい。

町功労者

工藤武雄氏ご逝去



町功労者で元選挙管理委員長の工藤武雄氏（山崎）が一月十五日に逝去されました。

工藤氏は、昭和三十六年から三十一年間、東由利村選挙管理委員に在任され、この間委員長として十六年にわたり選挙の明正な管理執行と明るい選挙の推進に尽力されました。昭和四十年には民生児童委員となり社会福祉活動に献身的に奉仕されるなど、地方自

治振興に貢献。また、銃剣道などで地域のスポーツ振興にも寄与されました。平成四年には、こうした活動が高く評価され、町功労者表彰を受章。平成十年秋には勲五等瑞宝章を受章されています。ご冥福をお祈りいたします。

所得税・町県民税の

申告相談

2月13日からスタート

所得税・町県民税の申告相談が二月十三日から始まります。日程表を確認のうえ、指定された会場で申告相談されるようご協力お願いします。

また、二月二十九日(日)、三月七日(日)も申告相談を行いますので、平日都合のつかない方はご利用ください。確定申告の受付は、三月十五日(個人消費税申告期限は三月三十一日)までとなっています。期限を守って正しく申告・納税しましょう。

今年も、自分で。
25歳、長谷川京子。

確定申告

※申告書は、必ずお持ちください。

※申告書は、必ずお持ちください。

※申告書は、必ずお持ちください。

※申告書は、必ずお持ちください。

※申告書は、必ずお持ちください。

平成16年申告相談日程表

月	日	曜	午前(受付9時~11時)	午後(受付13時~15時)	申告会場
2	13	金	寺田、茂沢、祝沢	湯出野、上里	役 場
	16	月	須郷田、館合新田(上)	館合新田(中、下、跡見坂)	役 場
	17	火	中ノ沢、高村、桂台	小倉	克雪センター
	18	水	十二ノ前	野田、新処	克雪センター
	19	木	横渡、島	蔵、黒沢	大 蔵 館
	20	金	岩館、宮ノ前	蔵新田	大 蔵 館
	23	月	下通	横小路、上通、中通	役 場
	24	火	新町1~3組	新町4~7組、吉野団地	役 場
	25	水	智者鶴、泡ノ渕	向田、津沢、地下ノ沢	住 吉 館
	26	木	黒渕	田代	住 吉 館
3	27	金	石高	高戸屋、下小屋、時雨山	住 吉 館
	29	日	一 般	一 般	役 場
	1	月	家ノ下、八日町	宇戸坂、館西、五海保	役 場
	2	火	下小路、新沢、松柴	山崎、久保、板戸	役 場
	3	水	袖山	大吹川、須郷	袖 山 館
	4	木	沼、杉森、畑村	高屋、土場沢、宿、下吹	高 瀬 館
	5	金	舟木、大琴(上)	大琴(下)、大台	高 瀬 館
	7	日	一 般	一 般	役 場
	8	月	収支計算、その他	収支計算、その他	役 場
	9	火	収支計算、その他	収支計算、その他	役 場
	10	水	収支計算、その他	収支計算、その他	役 場
	11	木	一 般	一 般	役 場
	12	金	一 般	一 般	役 場

○役場会場での受付時間は午後5時までです。(出先の会場は午後3時まで)
○指定日に都合が悪く他の会場で申告したい場合は、税務課までご連絡ください。
○その他申告に関する相談は、お気軽に税務課へお問い合わせください。

申告に必要な書類

《すべての申告者》

▼印鑑

▼生命保険料、損害保険料の控除証明書

▼寄付金の領収書など

▼医療費の領収書

▼(注)扶養家族のうち、住所が町内にない場合は、申告の時に忘れずに申し出てください。

▼(注)住宅資金の借入があった人は、所得税の住宅借入金等特別控除を受けられる場合が

申告には領収書などを忘れずにお持ちください

あるので申し出てください。

《給与所得者》

▼源泉徴収票

《年金所得者》

▼公的年金等を受給している方は源泉徴収票

《営業所得者》

▼収入、経費が分かる帳簿や領収書、通帳、精算書など

《農業所得者》

①簡易計算で申告する小規模

農家

▼「農産物販売明細書」など収入の分かるもの

②収支計算で申告する農家(水稲2 以上作付、葉たばこ生産農家、野菜等販売農家を含む)

▼「はじめよう収支計算」(農業所得計算ノート)

▼精算書、通帳、領収書(収入や経費が分かるもの)

《その他》

保険の満期、土地建物等の売却、立木の売却などの収支があった人は、収入額や売却などに伴って支払った登記費用など、経費金額のわかる書類が必要です。

※今回の申告で課税売上が一千万円を超えた場合は、平成十七年分より消費税の申告が必要になります。

※指定以外の会場で受付される場合は、あらかじめ税務課までご連絡ください。また、申告書は郵送でも提出できます。※税務署から申告通知が届いている方は、直接税務署へご相談ください。

お問い合わせ

税務課 (69-2111)



▲解体工事の安全祈願の神事

小松寛治氏（館合出身・本荘第一病院院長）が所有する家屋の部材が、東京銀座にオープンするレストランの内装に使用されることになりました。築百二十年を超えるこの旧家は、小松氏の生家。小松氏が、このレストランの経営者らの申し出を受け、寄贈するものです。

一月十三日には解体工事に先がけて安全祈願の神事が行われました。解体工事は十六日から始まっており、階段たんすなど利用可能な部材が運び出されました。

“小松寛治先生”が生家を寄贈

銀座レストランの内装に



▲懐かしい仲間と記念撮影

結成十五周年を祝う在京宿小会（佐々木明夫会長）が昨年十一月二十三日、東京都で行われ、出席した約八十人の会員が、会の歴史を振り返るとともに、さらなる飛躍を誓い合いました。

総会では、阿部幸悦町長が「合併によって町の名称が変わることにもなるが、故郷の山河はいつまでも残るものであり、これからもしっかり守ってい

結成15周年を祝う

在京宿小会

きたい」とあいさつ。

懇親会では、アトラクションや歌謡ショーが会場を盛り上げ、また、大琴自治会から借りた「大琴劇団江」の横断幕が出席者の感動を誘いました。

同会は、昭和五十六年に廃校となった宿小学校出身者の交流と親睦を図ろうと平成元年に発足したもので、現在は、宿小学校と大琴小学校の卒業生に参加を呼びかけています。

お問い合わせ
畑山良造幹事長

（03-3838-2938）



▲強豪を相手に善戦（写真はデジタルビデオ画像より）

県大会で善戦健闘！

八塩バスケットボールスポーツ少年団

「第三十二回県ミニバスケットボール交歓大会」が、一月五日から七日まで秋田市立体育館で行われ、本町からは八塩バスケットボールスポーツ少年団女子チーム（畑山伸行監督）が出場しました。

同チームは、初戦で強豪合川東スポーツ少年団と対戦し、四十八対二十一で惜しくも敗れましたが、本荘由利の代表として善戦健闘。また、高橋夕希さん（六年）が、県ミニバスケットボール連盟より平成十五年度優秀選手賞を受賞しました。

十年ぶりの県大会出場を果たした同チームには、今後の活躍に期待が寄せられます。



▲優秀選手に選ばれた高橋夕希さん（6年）

今年一年の無火災を祈願

消防出初式

消防出初式が一月四日、げんき館で行われ、参加した町消防団員や婦人消防隊など約二百人が防火への意識を新たにしました。

式では、阿部幸悦町長が無火災祈願のくす玉を解放し、団員らを観閲。その後、永年勤続の消防団員や模範団員の表彰が行われました。表彰者は次のとおりです。(敬称略)

▽**県知事表彰** 《二十五年永年勤続

章》三浦良男(本部長) 《二十年永年

勤続章》小野源行(第三分団分団長、

高橋春雄(第二分団班長、佐藤貴志(第

二分団班長、小松仁(第二分団団員)

▽**秋田県消防協会長表彰** 《勤続章

(十五年以上)》佐々木善永(第五分

団部長、小松秀栄(第三分団部長、



▲永年勤続・模範団員の表彰

遠藤茂(第四分団部長、阿部重樹(第四分団班長、横山茂(第一分団団員、高橋正(第二分団団員、佐藤茂一(第二分団団員、遠藤勝(第四分団団員) 《精勤章(十年以上)》 畠山鋼(第四分団団員、木島宏(第四分団団員、遠藤賢志(第四分団団員、大場惣晃(第二分団団員、阿部賢(第三分団団員、遠藤育英(第五分団団員)

▽**東由利町長表彰** 《模範団員》小

野進(第三分団団員、小野弘喜(第

三分団団員、佐々木良一(第五分団

団員、遠藤正人(第五分団団員)

▽**東由利町消防団長表彰** 《甲種精

勤章》小野智行(第五分団班長、横

山広喜(第一分団団員、小松明(第

二分団団員、小松嘉和(第二分団団

員、遠藤和幸(第四分団団員) 《乙

種精勤章》高橋和美(第三分団団員、

遠藤祥誠(第四分団団員、鈴木慎吾

(第五分団団員)

▽**東由利町長感謝状** 《退職団員》

佐藤幸輝(第一分団分団長、阿部恵

一(第四分団副分団長)、嶽石一人

(第一分団部長、小野智(第四分団部

長、伊東寛(第四分団班長、畠山昇

(第一分団団員、遠藤清(第四分団団員)

▽**本荘地区幼少婦人防火委員会会長**

表彰 《優良防火クラブ表彰》 館合婦

人消防隊

前年を上回るまずまずの成績

平成15年産葉たばこ収納

平成十五年産葉たばこの収納が一月十五日、十六日の二日間、増田町のJT葉たばこ増田取扱所で行われました。



▲検査員の評価を見守る関係者

今年の収納状況は、販売総額が一億二千四百三十三万二千元、十 当たりの平均価格が約四十六万円。夏の長雨のため収量減となった前年を上回る品質で、まずまずの成績となりました。

葉たばこは、米と和牛に続く町の主要作物であり、今後も生産者の健康に期待が寄せられます。

2月は省エネ月間

家庭でできる省エネを実践しよう！

《暖房機器は・・・》

① 部屋の暖房は20℃を目安に温度設定する。

② 電気カーベットは部屋の広さや用途に合ったものを選ぶ。

③ こたつは敷布団と掛け布団を使う。

④ 必要のない暖房はつけたままにしない。

《台所で・・・》

⑤ 洗いのをするときは、給湯器の設定温度を低くする。

⑥ 冷蔵庫の中は季節に合わせて温度

を調節し、整理整頓をする。

《浴室・洗面所で・・・》

⑦ お風呂は間隔をおかずに入り、できるだけ追い焚きをしな。

⑧ シャワーは長時間お湯を流したままにしない。

⑨ 温水洗浄便座は、温度設定をこまめに調節し、使わないときはふたを閉める。

《その他》

⑩ 電気、ガス、石油機器などを買うときは、省エネルギータイプを選ぶ。



知っておきたい Q&A

Q. 前回の更新認定では有効期間が半年でしたが、今年の更新認定では1年となっていました。期間は決まっていないのでしょうか。

A. 要介護（要支援）認定の有効期間は原則6カ月となっていますが、本人の状態などによって3カ月～1年となることがあります。一定の状態のまま推移すると判断される場合は1年となり、反対に病気にかかって、入院ののち回復したなど状態の変動が見込まれる場合は3カ月～6カ月の有効期間となります。よって質問の場合は前者に該当すると思われます。

なお、認定後に心身の健康状態が変わり認定の見直しが必要と思われる場合は、有効期間にかかわらず変更申請ができます。ケアマネージャー等と相談のうえ、申請をしてください。



問い合わせ 町民福祉課福祉係 69-2118



老齢基礎年金 受給の繰り上げ

年金だより

老齢基礎年金の支給開始年齢は65歳ですが、資格期間を満たして任意加入被保険者でない場合、本人の希望で60歳以上65歳未満の間に裁定請求を行えば、繰り上げて支給を受けることができます。

ただし支給の繰り上げを希望した人に支給される老齢基礎年金の額は、65歳から支給されるべき年金額から、支給を請求したときの年齢（昭和16年4月1日以前生まれの人のとき）または、請求したときから65歳到達月の前月までの月数（昭和16年4月2日以後生まれの人のとき）に応じた割合で計算した額が減額されます。

《支給繰り上げの請求をするときの注意点》

- ・年金額は、本来の老齢基礎年金の額から請求したときの年齢に応じて一定の額が減額され、減額率は一生変わりません。
- ・受給権が発生したあとは、原則として傷害基礎年金を受けられません。また、裁定の取消はできません。
- ・国民年金に任意加入することはできません。

問い合わせ 町民福祉課保健係 69-2117

ほけんしのコラム

いきいき健康教室

お酒はマナーと適量を守って！

お酒は、マナーと適量を守れば「百薬の長」と言われるように、心身の緊張を解いてリラックスしたり、動脈硬化を防ぐHDLコレステロールが増えたりするなど、健康にプラスの効果を得ることができます。

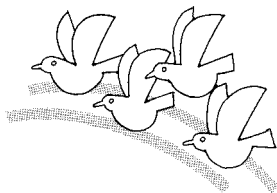
しかし、たばこのニコチンと同じようにアルコールにも依存性があり、次第に飲酒量が増えて味やその場の雰囲気、会話を楽しむのではなく、酔うこと自体を求める飲み方に変わる人もいます。

秋田は東北一お酒の消費が高い県と言われています。多量の飲酒習慣が続くと心身の健康を損なうだけでなく、仕事や家族にも深刻な影響を及ぼしかねません。

アルコールの依存性や危険性を再認識し、節度ある適正な飲酒と休肝日を心がけ、もっと肝臓をいたわりましょう。

ご協力ください。「はたちの献血」

冬場から春先の時期は、献血者数が一時的に減少するため、長期保存できない輸血用血液の不足につながります。病気やけがで苦しむ多くの患者さんたちのために、ぜひ献血にご協力ください。



木材共販市況

(平成十六年一月・平均価格
四十五年生・五十五年生)

径	級	単 価 (石)	備 考
直材36cm上		—	
24~34cm		3,610~4,841	
14~22cm		3,323	
13cm下		—	
曲 り 材		—	

地場出荷主体の地区だけに当用買いに終始。量産工場の手当でも入らず26%と低調。

林業 だより 木材需要の変化

国内林業 木材産業の長期的な不振原因の一つには、木材需要の大半を占める住宅建築の低迷があげられます。

平成八年の住宅着工一六〇万戸台から、このところ一一〇万戸台に落ち込んでいます。これは、在来木造住宅の着工量減少につながり、木材需要量の減少となっています。

近年における在来木造住宅は和室が大幅に少なくなっており、従来の使われ方から木材の強度や耐久性などの数値が明らかでない

材製品が使われるようになり、性能に対する対応が遅れているスギ国産材はここ数年、需要量の減少をものろに受けています。

例えば在来木造住宅の建築では、スギ柱の使用率は年々低下して平成六年頃に五〇であったものが、平成十二年には二五程度になり集成材の使用が多くなってきました。

スギ材需要の拡大には、製品市場の変化にこたえて、品質や性能を保証できる製品をいかにして生産供給するかが課題です。

(町林業懇話会長

佐藤恒悦氏

おとなり情報

～本荘由利の催物などを紹介します～

岩城町から

天鷲冬まつり

と き…2月11日(水) 9:00～16:00
ところ…天鷲村
内 容…第1回天鷲城将棋フェスタIN岩城、ビー玉で遊ぶ、むかしの屋台など
史跡保存伝承の里(株)天鷲村 74-2525

金浦町から

掛魚まつり

と き…2月4日(水) 10:00～13:00
ところ…金浦山神社・勢至公園広場
内 容…たらの奉納、金浦神楽実演、たらかつぎ体験、たら汁販売、金浦町特産品販売など
金浦町企画課 38-4300

鳥海町から

スーパーキッズスキー大会第2戦

と き…2月22日(日) 選手受付9:30
ところ…鳥海オコジョランドスキー場
内 容…◇小学3年生以下のアルペンGS大会。競技は大回転2本制、2本の合計タイムで順位を決定。全3戦で1戦のみの参加も可。◇参加費1,000円
鳥海オコジョランドスキー場 58-2932

象潟町から

きさかた発「あつあつ おらほの鍋自慢」

と き…2月29日(日) 11:00
ところ…道の駅「ねむの丘」特設会場
内 容…◇くま鍋、どんがら汁、きりたんぼ、イタリアン鍋など各地区に伝わる自慢の鍋料理を味わえます(チケットで3食)。◇前売券400円、当日券500円
象潟町商工観光課 43-7504

由利町から

由利高原雪まつり

と き…2月15日(日) 10:00～14:00
ところ…南由利高原青少年旅行村 ふれあいロッジ
内 容…スノーモービル無料試乗会、ジャンボすべり台、親子で楽しめる雪上運動会、つくたてのモチ、甘酒の無料サービスなど
由利町企画商工課 53-2111

由利の明日を日本酒に聞く集い

と き…2月21日(土) 17:30～20:30
ところ…ゆりの里交流センター「ゆりえもん」
内 容…◇利き酒大会、お楽しみ抽選会、町の特産品「百蔵」の2004年版生酒を味わう◇参加費:前売券3,000円(100枚限定、ゆりえもん入湯券付き)
◇申込先:町内の各酒店、「ゆりえもん」
由利町商工会 53-3314

大内町から

大内ウインターフェス2004

と き…2月14日(土) 9:00
ところ…ぼぼろっこ周辺(はーとぼーと大内)
内 容…体験型ミニかまくら、各種屋台コーナー、国盗り雪合戦、バレンタイン打ち上げ花火など
大内町商工会 65-2218

第16回大内町農業者大会

と き…2月11日(水) 10:00～15:00
ところ…大内町農業技術拠点センター「メープル」
内 容…講演「魅力ある農村、町づくりは一人一人のキラメキから」講師:旬ウェルビー代表取締役 志村尚一氏、佐藤幸也氏
大内町産業課 65-2216



大平スキー場へ 行こう



本町には様々な体育施設がありますが、特に大平スキー場は冬季間ならではの施設です。冬を有意義に過ごす一つの方法として大平スキー場を利用してみませんか。



▲本町のみならず他町小学校のスキー教室でも利用されている

冬季間の雪の多さをプラスとしてとらえ、冬を楽しく過ごすために、大平へどうぞ。スキーに親しむのもよし、親子で雪と遊ぶのもよし、新しい楽しみ方を見つけるきっかけにしてみませんか。

スキー以外に生涯スポーツに関する事、各体育施設の申込み等がありましたら教育文化課スポーツ担当までお問い合わせください。（六九一—三三〇）

また親子でスキーをと、町スキークラブが主催するパパマママジュニアスキー教室が毎週水曜日午後七時から（三月三日まで）行なわれています。受講料は一シーズン五千円と格安な事もあり、多数の方が参加している教室です。スキーを通じて親子の交流をしてみませんか。なお二月八日には大回

転競技を中心にした大平スキー大会が開催されます。（参加者全員に豪華賞品 大会、教室ともに問い合わせは大平スキー場（六九一—三三〇）まで。

一月十五日から二十三日まで四日間、大平でスキーの楽しさを体験しようと、ナイタースキー教室が実施されました。この教室は毎年一月に行なわれているものです。教室では町スキークラブ地元ベテラン指導者から参加者たちが講習を受けました。参加料が無料、しかも技術を確実に学べるということもあり、のべ一五七人が参加。四日間、事故もなく好評のうちに終了しました。参加者たちは「楽しくスキーを学べてよかった」、「来年も参加したい」と話していました。



▲「よしずべるゾ」。小学生にはすべりやすいスキー場として好評

親子で雪に親しみませんか

大平スキー場は親子のふれあいを深めるファミリースキー場として最適な施設ということもあり、休日などはそり等に興じる親子の姿が見かけられます。また冬を有意義に過ごす身近な施設としてスキー愛好者に親しまれている施設でもあります。

1月 公民館行事から 冬空の下 吹矢で楽しむ わくわくサークル



▲吹矢のコツを覚えて頑張る会員たち

一月十七日、町民体育館でわくわくサークルが行なわれ、参加した二十八名の会員はスポーツ吹矢とミニテニスに取り組みました。

吹矢は、胸式・腹式呼吸による健康法が自然にできる事、的に矢を命中させた時の爽快感を伴う楽しさに特徴がある競技です。

会員たちは初めての吹矢に嬉嬉として取り組んでいました。

子どもたちの力作を鑑賞

宏幸賞作品展



▲ジョイフルシティに展示された上位入賞作

十二月十四日に実施された高橋宏幸賞童話秋田県コンクール表彰式。年末年始にかけてぶれつそ（十二月二十六日～一月七日）および本荘ジョイフルシティ（一月九日～一月十八日）で上位入賞作品の展示が行なわれました。

会場には多数の方が訪れ、幼児、児童の力作を鑑賞していました。

新着本紹介

2月

太字は特にオススメです

- ▼あした青空／千葉紘子
- ▼100万回の言い訳／唯川恵
- ▼炎と氷／新堂冬樹
- ▼経験を盗め／糸井重里
- ▼鯨を極める／早瀬圭一
- ▼晴ればれ更年期／吉永みち子
- ▼たまもの／神蔵美子
- ▼指輪をはめたい／伊藤たかみ
- ▼ユニット／佐々木譲
- ▼ナポリ魔の風／高樹のぶ子
- ▼魔女は夜ささやく上・下／口バート・R・マキャモン
- ▼明治ちぎれ雲／平山壽三郎
- ▼煤煙／北方謙三
- ▼真夜中のマーチ／奥田英朗
- ▼東京湾景／吉田修一
- ▼光って見えるもの、あれは／川上弘美
- ▼まともな人／養老猛司
- ▼老楽笑歌／林あや子
- ▼マリア様がみてる／今野緒雪
- ▼新レインボーことわざ辞典／市川俊男
- ▼警星の住人／島田雅彦
- ▼CHEAP-TRIBE／戸梶啓太
- ▼草笛の音次郎／山本一力
- ▼箱崎ジャンクション／藤沢周
- ▼ゲームの名は誘拐／東野圭吾

今月の冊

26回

「つまらない男に恋をして」

藤室志津子・角川書店



それにしても、普段真面目な人間のほうが、常軌を逸した行動に出るのは何でだろうと思う。

所謂世間で言うところの、「一生自分で食べていける職業を持つ女程ヒモみたいな（或いはヒモそのもの）な男に入れあげてしまふのは何故なんだ？そして、この本のヒロイン麦子も例にもれず、そういう女性だ。

一生懸命勉強し、若くして税理士の資格を取り、容姿も頑張って磨き……と、勤勉な努力家であり、その努力を全て結果で表せる程 麦子

は非常に優秀だ。なのに、彼女が執着している男、京介。三十二歳になる今までまともな仕事に就いたこともない。役者志望の夢だけ大きい怠け者だ。「やめなさい、あんな男！」と誰だつて思う。しかも、麦子はこんな男の気を引くために、苦心惨憺して方々から借金し、一千万円近い金を奴に都合するのだ。その借金返済のために自分はポロアパートに住んで、儉約の日々を送りながら。（大金をもった京介は、逆玉で金持ちの若い女と結婚なんかしているのに、だ）本当にどうかしている。なんて馬鹿なんだろうと思う。しかし、この馬鹿馬鹿しいほどの情熱に、読んでいると羨ましが胸底からこみ上げてくる。彼女の中には「他人にどう思われるか」という、見栄や体裁が全く存在しないのだ。本当はみんな正直に生きたい。だが、それが出来ないのが現実だ。実際にやれば軌道修正が出来なくなる事が、世の中は圧倒的に多い。

結果を顧みず、挫折しても悔いなく、麦子のように誰かを想うことが出来たら、どんなに爽快だろう。

つまらない相手に恋をする人間は駄目だ。駄目だが、それが人間だ。麦子の姿から私は、人生の真実を見た思いがする。「胸のすく恋愛小説」とあったが、帯に偽りなし。ラストがちよっと泣かせます。(U)

子育てひろ場

その4

子育てひろ場へ
気軽に声を



▲サポーター活動から（保育園でのボランティア）

町子育てサポーター、二月の活動予定は、①三歳児検診時ボランティア（2/4・有鄰館、②保育園での子育てボランティア（2/23・みどり保育園）、③公民館で楽しむついで協力（2月中旬・有鄰館等です。なお三月にはそれらの活動に加えて、子育てサポーター活動先進地視察なども予定しています。

サポーターは十二月に新調した全員揃いのエプロンを身につけ、子どもたちのためにがんばっています。町で子育てサポーターを見かけたら気軽に声をかけて下さい。

子育てサポーターへの問い合わせ、依頼、子育て相談などがありましたら、サポーターもしくは教育文化課（六九二二三一〇）までお願いします。

寄贈本ありがとうございました



郷土研究家伊藤祐紀さん（男鹿市在住）より自費出版本「古代船木氏一族の軌跡」が寄贈されました。

これは太陽と住吉の神を奉り、大和朝廷を支え秋田を拓いた古代船木一族を追った力作です。公民館図書室にありますのでぜひご覧下さい。

ふなやま 八〇 むかしむかし

漆 かき兄弟

むかしむかし、奥山の麓で漆を
かいて暮らしている二人の兄弟が
いました。漆は、漆の木から出る
樹液を掻鎌でかきとり、お椀やお
膳に塗る貴重な原料として売り買
いされていました。

ある日、兄が一人で奥山へ漆か
きの仕事に出かけたときのことです。
山道の石ころにつまずき、そ
の拍子に大事な漆かきの鎌を谷
川に落としてしまいました。兄は
冷たい谷川に入り、鎌を探しまし
た。谷川の水はきれいに澄んで川
底もよく見え、歩きながら深い方
も探してみました。鎌は淀みのあ
たりに沈んでいましたが驚いたこ
とに、漆の木から流れ出したのか
川底の淀みには鎌と一緒にいつぱ
いの漆がたまっていたのです。

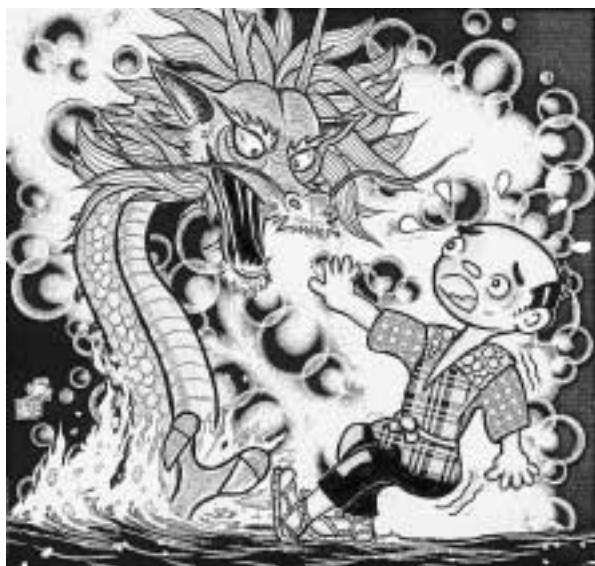
川底の漆を手にした兄は、それ
はそれは質の良い漆なので、町に
売りに出かけました。上等な漆は
高く売れ、兄は「宝物を手に入れた。
これは俺一人のものだ」と、
独り占めにしようと考えました。
それから兄は、弟に見つからない
ようにこっそり奥山の谷川に出か

け、漆を集めて町に売りに行くの
でした。

ところが、だんだん金持ちにな
っていく兄を見て「これは変だぞ」
と後をつけた弟に、兄の宝の場所
はすっかり見つかってしまいました。
すると、兄はなんとかして弟
をこの谷川に近づけないようにと
頭を悩ませ、いろいろ考えた末に
町の彫物大工を訪ね、「本物に見
えるような恐ろしい竜を作って
くれ」と頼みました。彫物大工は
朝早くから一生懸命に心をこめて
竜を作りあげました。

出来上がった竜を見た兄は、あ
まりにもすばらしい出来栄えに思
わず息をのむのでした。そして、
今にも飛びかかってきそうなほど
恐ろしいこの彫
物の竜を、谷川
の漆のある淀み
に仕掛けたので
した。兄は「弟
は驚いて二度と
近づくまい」と
一安心です。

ところが次の
日、兄がご機嫌
で漆を集めに谷
川へ入ると、ど
うしたこととし
よう、木彫の竜
は「ウォーッ」
と吠え、らんら



んとした目は炎のように赤く、体
をうねらせ兄に向かってくるので
した。

「…なんとしたことだろう、作
りものの竜が…」腰を抜かしなら
がも大急ぎで岸に上がりました。
木彫の竜は、漆のたまった場所
で大暴れです。「はっ」と気づいて
兄が川底を見ると、木彫りの竜の
下にあった漆は、流れてしまった
のか跡形もありません。兄は、
「俺が悪かった。弟と仲良く漆を
とってあれば良かった」と心を
入れかえ、それからの兄弟はとて
も仲良く暮らしたということです。
長谷山直助氏(地下ノ沢・故人
語りより)

(文と絵 石渡力造氏)

季節を詠む

(せせらぎ句会)

読始め小学国語のみずの詩	家ノ下	小松正昭
暁に初鶏の声のびのびと	山崎	小松良子
雪がまくら雨に一日の命かな	横小路	小松丈介
初夢に不老長寿の秘薬得し	上通	小松メサ
初夢の胸に抱き寝のひと拳	高戸屋	小松敏雄
やわらかに空染まりくる大旦	中通	小松順之助
鳥けもの懐にしまいて山眠る	新町	寅田敏雄
老人を労わる家族冬ぬくし	五海保	嶽石レイ
飾花鉄の音も晴れやかに	時雨山	吉川葉子
初ひとつ葉に残れる注連飾り	横小路	宮野源二郎
初参りいくさ無きこと禱りけり	舟木	大庭喜右衛門
山里の流れ静かに初菫	蔵新田	小笠原亮子
初春や一品ふやす喜寿の膳	上里	小野石路子
宵の年出稼ぎたちも帰り着き	舟打場	高橋民治郎
牛飼いの初日整う朝詣り	久保	高橋典三
初電話介護の日々を語り合う	小倉	遠藤トミ子
散りゆくを夙に忘れて花八手	秋田市	嵯峨義之
賀客待つ囲炉裏のお湯のたぎる音	蔵新田	小笠原トミ
初日今大きく開く大戸かな	横渡	高橋ヒデ子

part1・雪ものがたり2004

ミニ雪像コンテスト
賞金総額100,000円!! 参加募集

2/14 (土) 2/15 (日)

ひがしゆり雪まつりツアー

part2・雪上野球W杯東山利大会

2/22 (日)

part3・早春やしろ元気まつり

3/7 (日)

part4・雪山八塩登山

3/14 (日)

ひがしゆり雪まつりツアー実行委員会・事務局東山利町企画課 0184-69-2113

ひがしゆり雪まつりツアー “雪ものがたり2004”

ミニ雪像コンテスト

賞金総額100,000円!! 参加募集

＜募集期間＞
・1月25日(金)から2月5日(木)

＜募集要項＞
・1.3点 ※応募多数の場合は抽選により決定することもある。
・雪像の大きさ
・雪像の大きさ
・雪像の大きさ

＜募集要項＞
・1.3点 ※応募多数の場合は抽選により決定することもある。
・雪像の大きさ
・雪像の大きさ

＜募集要項＞
・1.3点 ※応募多数の場合は抽選により決定することもある。
・雪像の大きさ
・雪像の大きさ

＜募集要項＞
・1.3点 ※応募多数の場合は抽選により決定することもある。
・雪像の大きさ
・雪像の大きさ

ひがしゆり雪まつりツアー実行委員会事務局(役場企画課) 0184-69-2113

アイドルをさがせ!

佐々木 かいくん (大琴・1歳)

お父さん: 豊 さん
お母さん: 恵 子さん
お話し: 恵子さん

名前の由来は?
「海の近くの病院で生まれたこと、誰にでも覚えられる呼びやすい名前にしたかったことが『海』とつけた理由です」

最近のエピソードは?
「言葉が多くなり驚いています。『ちょっとお』『それとってえ』などと言われます」

家族では誰になついていますか?
「実家の祖父母、特にお菓子をくれる曾祖母が好きなようです」

本人の性格は?
「活発で負けず嫌いです」

お父さんとお母さんからかいくんへひとこと
「わんぱくで困ることも多いけれど、それ以上に優しく笑顔で接してくれてありがとう。これからたくさん楽しい話を聞かせてください」

ヤング・ジェネレーション

高橋 ひろあきさん (久保・21歳)

職業は
本荘のアクサムで働いています。

趣味は
ビデオ鑑賞です。

自分の長所は
性格が明るいところですね。

理想のタイプは
優しい人が好きです。

目標、夢は
整備士になること。

家族にひとこと
いろいろ迷惑をかけていますが、これからもよろしく願います。



郷土の野草

NO.228

オオバコ

文・写真 小松忠正氏

日本全土、朝鮮、中国などにもある多年草で、ここでは「ビツキクサ」といってウサギの餌として採取したものでした。道路や路傍、田の畔など人や車の通る所でも平気で成長する丈夫な根や葉を持っていて、漢名は「車前草」と書きます。葉は広卵形で、やや厚つぽく平行脈があります。その葉間から花茎を伸ばし、白い小花を穂状につけます。やがて黒い種子になります。これを煎じて咳の薬に、また、全草を乾かして煎じてむくみに、生の葉をあぶってはれものに利用する薬草です。

データ東由利

住民基本台帳

	12月末人口	前月比
男(人)	2,334	— 2
女(人)	2,495	— 3
計(人)	4,829	— 5
世帯数(戸)	1,369	1

	12月異動人数	1月からの累計
出生(人)	2	25
死亡(人)	6	78
転入(人)	3	74
転出(人)	4	123

消防・交通

	12月発生数	1月からの累計
火災出動(件)	1	3
救急出動(件)	13	144
交通事故(件)	3	5
死亡(人)	0	1
傷者(人)	7	9
飲酒運転(件)	0	1
酒気帯び(件)	0	3

戸籍の窓口

(12月21日?1月20日届出)

●お誕生おめでとう

1/6 佐藤 瑛子ちゃん(誠) 律沢

1/11 伊東 学飛くん(賢) 真由美島

●ご結婚おめでとう

1/11 小野 和成さん(須郷田) 上里

●ごめい福をお祈りいたします

1/29 麻生清治郎さん(清一) 五海保

1/31 今野 易雄さん(孝子) 新町

1/5 安倍 貞子さん(秋雄) 八日町

1/6 小野 広樹さん(悦子) 大野

1/8 菊地ハルヨさん(幸悦) 館西

1/12 伊東 潔さん(幸悦) 館西

1/15 工藤 武雄さん(繁) 山崎

1/16 鈴木誠二郎さん(繁) 山崎

1/16 高橋 敬生さん(トシ) 大前

1/18 伊東 長一さん(シン) 岩館

※広報への掲載を希望しない方は、届出の際にお知らせください。

2月の行事予定

- 3日 高齢者ふれあい交流 (高瀬館)
- 4日 3歳児健診
- 5日 IT講習第1期(5,6,9,10日)
- 8日 町民スポーツ祭 (ペタンコ&キンボール)
- 10日 高齢者ふれあい交流 (八塩館)
- 11日 建国記念の日
- 12日 機能訓練教室
- 13日 高齢者ふれあい交流 (住吉館)
- 14日 雪ものがたり2004(～15日)
- 17日 女性のためのさわやか講座
- 18日 予防接種(集団・ポリオ)
- 19日 食生活改善講習 IT講習第2期(19,20,23,24日)
- 20日 献血
- 22日 2004雪上野球W杯東由利大会
- 23日 高齢者ふれあい交流 (玉米館)
- 24日 ことぶき大学(閉講式) 予防接種(個別・三混)
- 25日 機能訓練教室
- 26日 第14回本荘由利一市七町合併協議会
- 27日 高齢者ふれあい交流 (老方館)
- 28日 わくわくサークル(終了式・文集づくり)

読者からの投稿

投稿者 黒沢 木島 忠一さん



「わら細工の名人、工藤太一さん(大琴)を紹介いたします。太一さんは、新年になると神社にしめ縄を奉納したり、太平山に大わらじを奉納したりしています。この技術を引き継ぐ後継者がいてくれたらと思います」
皆さんからの珍しい写真やおもしろい写真をお待ちしています。

おわびと訂正 1月号「新春インタビュー」で島山久八さん、イヨさんの生まれた年が昭和7年生まれとなっていますが、大正9年生まれの誤りです。おわびして訂正します。

おれ
(12月21日?1月20日)
広報送付謝礼として次の方から金一封をいただきました。
小野四郎さん(西宮市)、佐藤次男さん(釧路市)
社会福祉協議会に次の方からご芳志が寄せられましたのでご紹介いたします。
阿部重雄さん(蔵新田)、今野孝子さん(新町)、伊東洵さん(岩館)



ほっとひといき

夜更かしをしていたら、遠くの方で「ごー」という音がします。何だろうと考えているうちに、その音が家の前の道路を通過したので除雪車であることが分かりました。オペレーターの皆さんが寝起きしている時間を逆算で想像しながら、最近さぼり気味だった家の前の雪かきを頑張ってみようと思いました。(晃)